

文献紹介

関連雑誌の特集

医学図書館. 2006 ; 53 (3)

特集：図書館協力

- ILL 統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割
- 東京都立中央図書館のレファレンスサービス
- 社会福祉系大学図書館会議の取り組み

特集：第77回 NPO 法人日本医学図書館協会総会

- 「第77回 NPO 法人日本医学図書館協会総会」報告
- 「館長・司書会議」報告
- 第1分科会「医学情報の一般への提供：国立ライフサイエンス情報センター（仮称）構想を視野に入れて」参加報告
- 第2分科会「学術雑誌をめぐる諸問題—情報流通の現状と対策を探る—」に参加して
- 第3分科会「図書館サービスと著作権—法の改正と業務のあり方をめぐって—」報告
- 第4分科会「医学図書館の業務委託—専門性、形態等からその是非を問う—」に参加して

薬学図書館. 2006 ; 51 (3)

特集：日本薬学会第126年会薬学図書館協議会企画シンポジウム

- 薬学図書館協議会企画シンポジウムを振り返って
- ウェブ主流時代における情報リテラシー教育再構築の試み

- 研究者が使えるインターネット情報とデータベース
- 米国の高齢者専門薬剤師（CGP）制度
- 「妊娠と薬情報センター」におけるデータベース構築
- 薬剤師生涯学習におけるE-ラーニングの果たすべき役割

ほすびたるらいぶらりあん. 2006 ; 31 (3)

特集：病院図書室研究会 2006年度第1回研修会

- 図書館員のための EBM 講座
- ISO9001を取得して—医師の立場から
- 病院司書に期待すること
- 無料電子ジャーナルの登録方法
- The 職人—図書「質」づくり
- 病院機能評価を受審して
- 医療従事者の情報ニーズマップの試作—薬剤科所蔵資料を調査して
- 北海道の病院図書室紹介

日赤図書館雑誌. 2006 ; 13

特集：雑誌のゆくえ

- 学術雑誌電子化に関する考察
- 病院図書館における電子ジャーナルへの移行
- 電子ジャーナルのアーカイバルアクセスをめぐる現状と今後の方向
- 雑誌のゆくえ
- 雑誌の行方—トポグラフィ的観察—

文献紹介

図書館

専門図書館を使い倒す！－取材現場からの期待と注文

千野信浩

専門図書館. 2006 ; 219 : 5-10.

「図書館を使い倒す！」(新潮新書)の著者。「素人」の利用者として、図書館のユニークななぞをあげている。そのひとつが「図書館員はゴメンと言わない」。図書館は無料であるゆえ、サービスに対する責任が不明確になっていることを指摘する。

The 職人－図書「質」づくり

大沼由紀子

ほすびたるらいぶらりあん. 2006 ; 31(3) : 192-9.

著者が勤務する病院の、図書室づくりに関する紹介記事。図書室担当者としての仕事意識や、利用者の立場に立ったサービスの提供の仕方などの工夫について記載されており、参考のできる部分が多い。

電子ジャーナル

病院図書館における電子ジャーナルへの移行
及川はるみ

日赤図書館雑誌. 2006 ; 13 : 8-12.

病院図書館の雑誌契約における、電子ジャーナル導入の事例。最先端の病院図書館の様子を知ることができる。購入した電子ジャーナルパッケージ商品につけられているコメントも参考になる。

電子ジャーナルのアーカイバルアクセスをめぐる現状と今後の方向

岩崎治郎

日赤図書館雑誌. 2006 ; 13 : 13-8.

電子ジャーナルへ移行する際の大きな障害のひとつとして、契約中止後も購読した電子ジャーナルのコンテンツにアクセスできるかどうか、いわゆるアーカイバルアクセスの問題がある。著者は「最近では事情が変わりつつある」として、出版社と第三者機関によるアーカイブ保存の事例を複数あげている。

無料電子ジャーナルの登録方法

山田有希子ほか

ほすびたるらいぶらりあん. 2006 ; 31 (3) : 185-91.

購入している洋雑誌の中には必ず無料電子ジャーナルのついたものがあるはずだが、どうもやっかいな気がして、手を出していない人も多いはず。本稿はサイト画面の写真も入れ、ていねいに解説。電子ジャーナル化への一歩を踏み出させてくれる。

その他

ライフサイエンス－医学分野を中心に－(特集：Infoproならこれを読んでおこう)

奥出麻里

情報の科学と技術. 2006 ; 56 (8) : 350-1.

病院図書館に勤務する著者が、参考になる雑誌、図書、インターネットのサイトについて、「特効薬的」なものではないとしながらあげている。すぐれた司書の知識の源をかいま見ることができて楽しい。

患者・家族への情報提供を模索する－多職種協働による健康・医療情報の社会提言－

北澤京子・石井保志

情報の科学と技術. 2006 ; 56 (9) : 406-11.

「だれもが自分自身でからだや病気について学習できる健康医療情報のステーションを作る」ために、まず取り組んだ「闘病記プロジェ

文献紹介

クト」の事例報告。

ILL 統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割

酒井由紀子・園原麻里

医学図書館. 2006 ; 53 (3) : 233-8.

統計データは慶応の信濃町メディアセンターのもの。ILL「受付」の申込方法はFAXによるものが全体の過半数を占めているなど、病院図書館の重要な文献複写依頼先である、私大医学図書館のILLの現状を知ることができる。

医療情報サービス研究大会からはじまる交流の輪

山田いづみ

情報の科学と技術. 2006 ; 56 (9) : 401-5.

医療情報サービス研究大会初参加から2年後には実行委員として活躍した著者は、なにより人的交流の場としての重要性を説く。今年の情報研は8月25～26日に長崎で行われる。

■文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。

■「情報の科学と技術」は協議会で購読しています。

■興味ある文献を分かちあいましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。